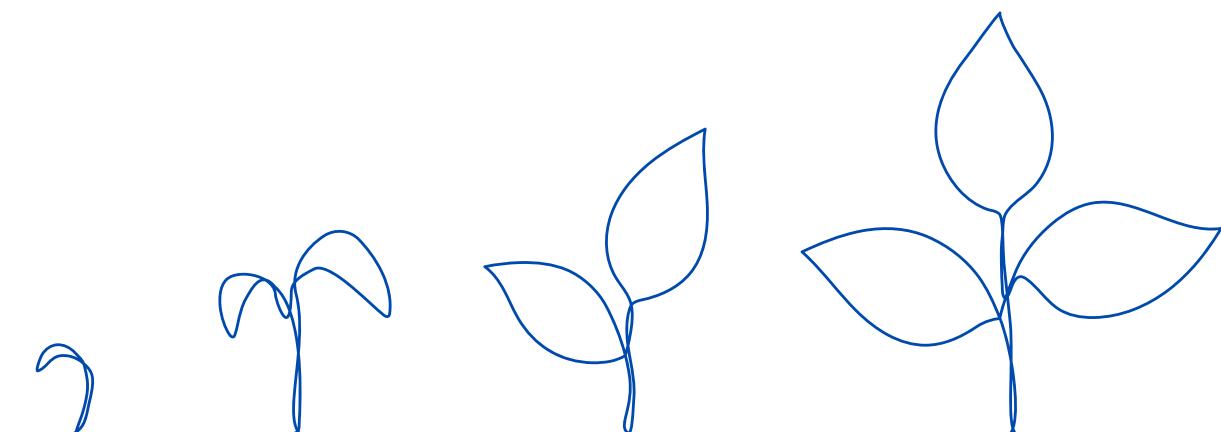




# インジケーターを学ぶ

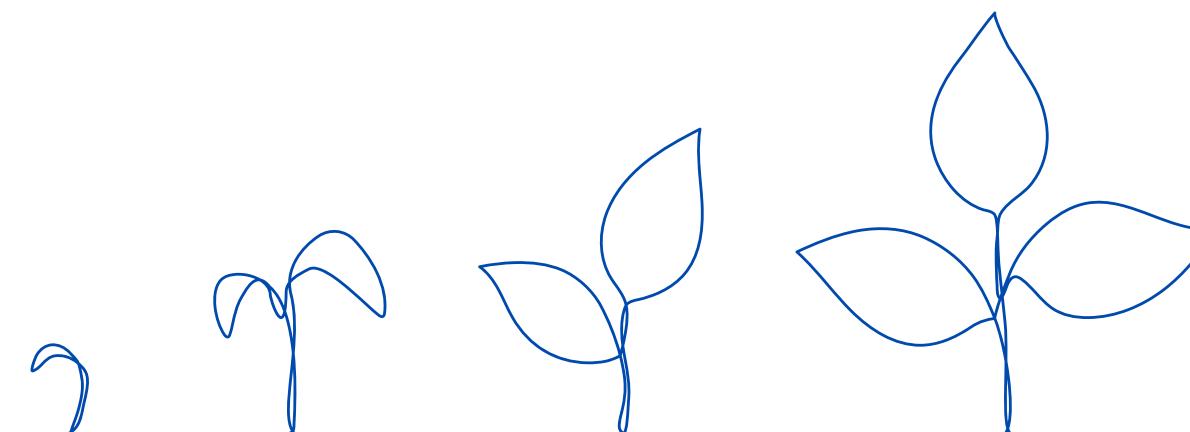
基礎学習講座





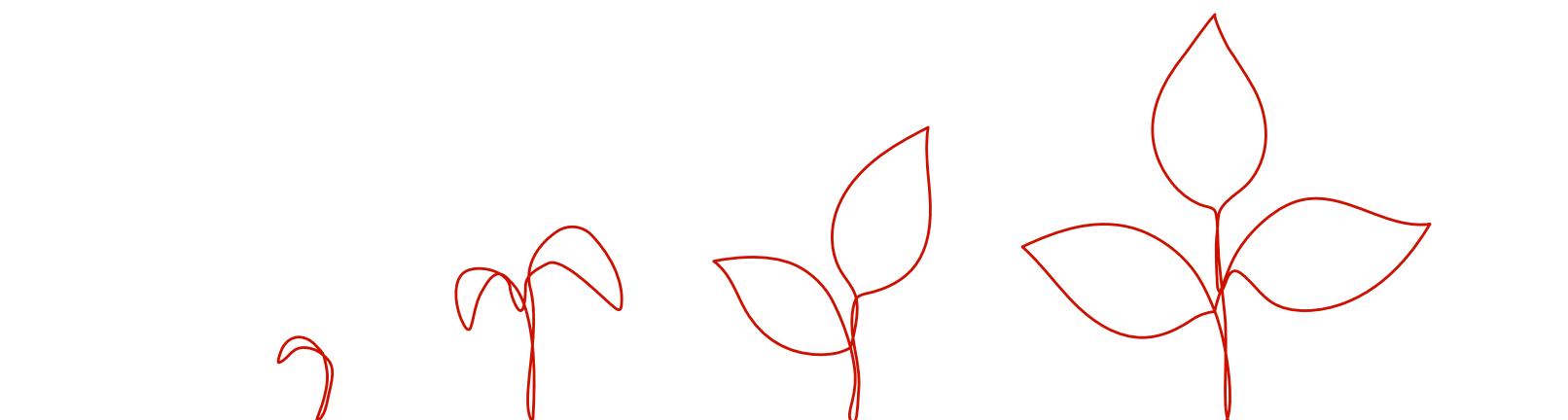
# インジケーターとは？

FXトレードで使われるインジケーターはチャート上で価格の動きを分析するためのツールです。これらはあくまでサポート役です。トレードの成功には、複数のインジケーターを組み合わせて冷静に活用することが大切です。インジケーターを使うことで相場の状況を理解し次の動きを予測する手助けをしてくれます。





# 移動平均線(MA)



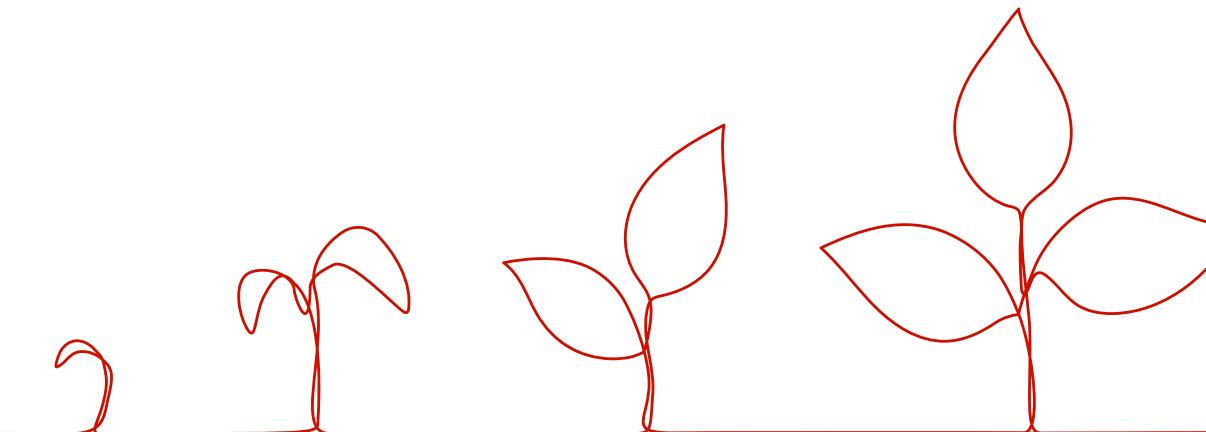


# 移動平均線(MA)



## 移動平均線とは？

移動平均線は、一定期間の価格の平均を線で結んだものです。価格の全体的な流れやトレンドを視覚的に捉えるために使われます。



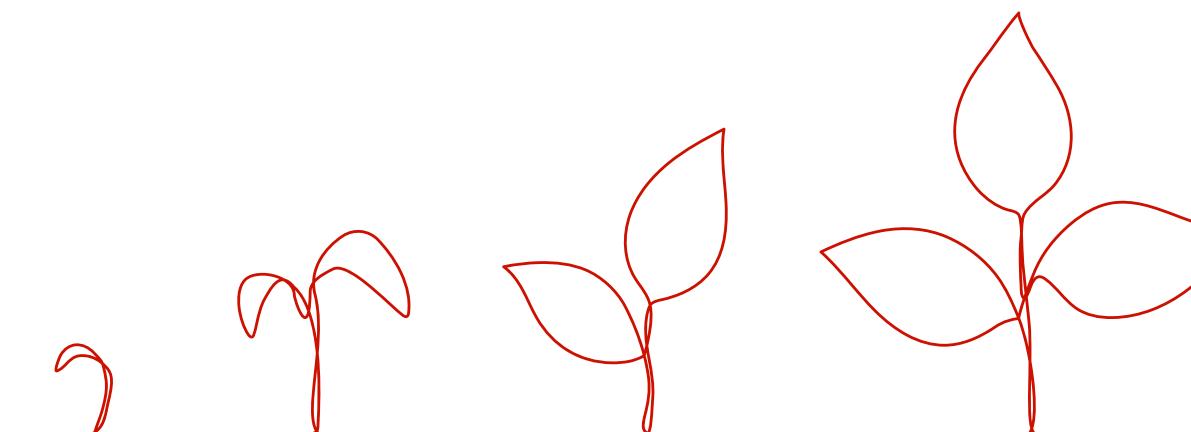
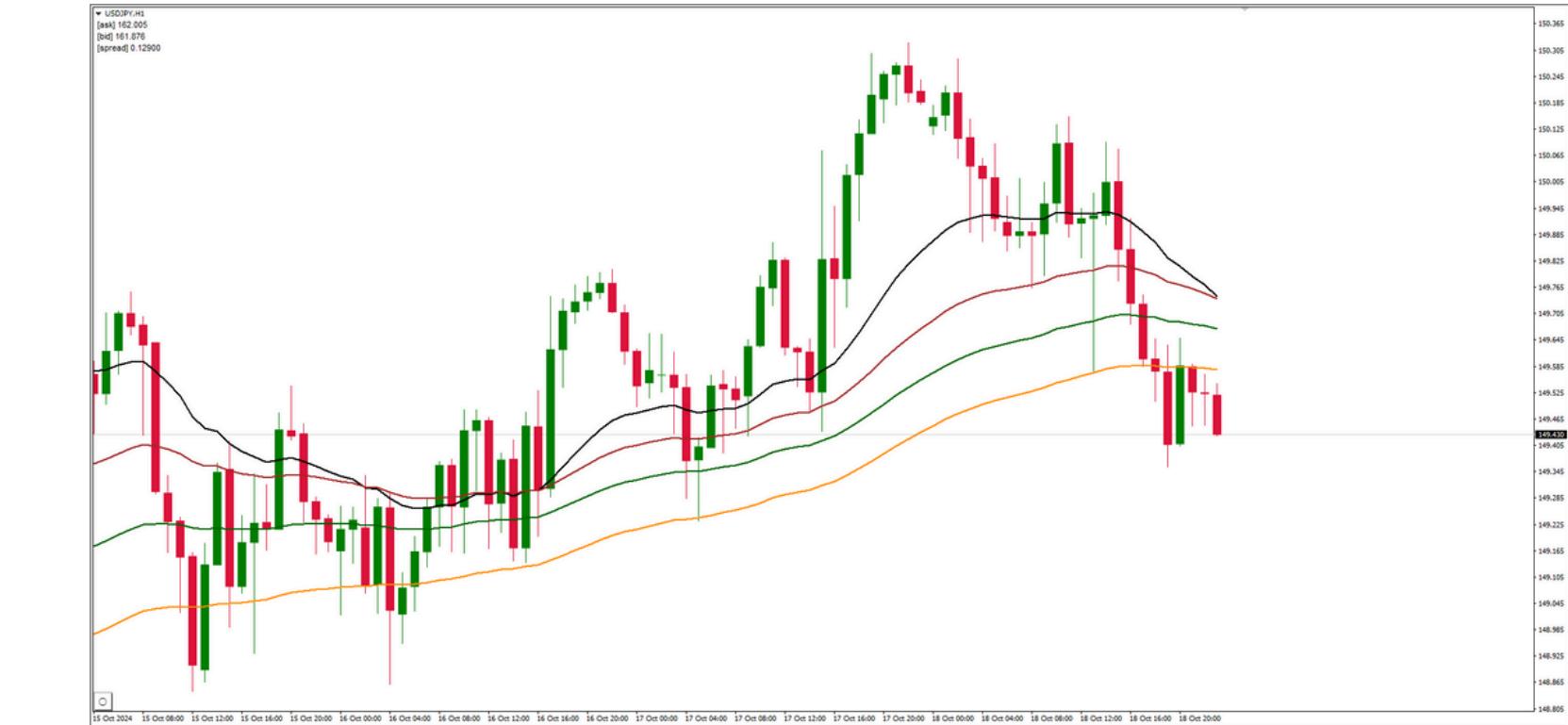


# 移動平均線(MA)



## 移動平均線の使い方: 例

価格が移動平均線の上にある場合は上昇トレンド、下にある場合は下降トレンドを示すことが多いです。このシンプルな判断で、トレンドの方向性を確認できます。



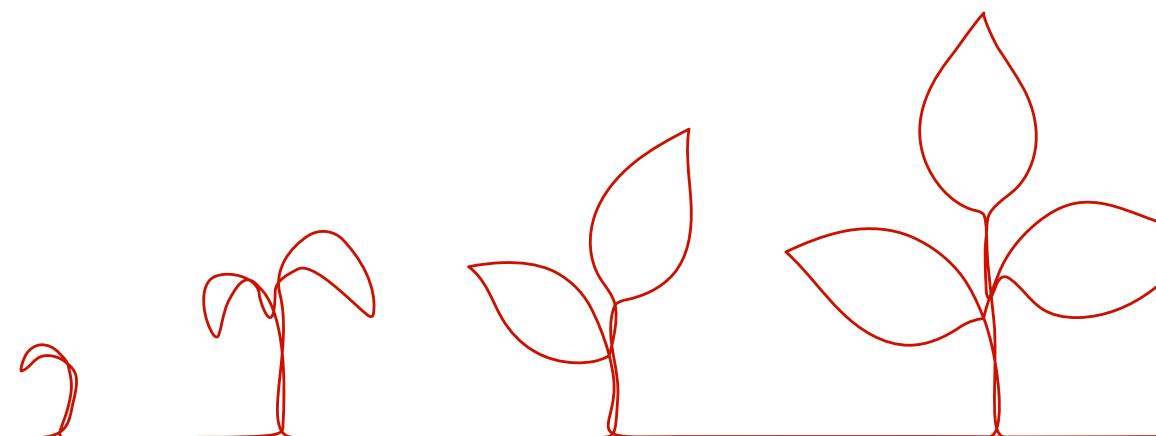


# 移動平均線(MA)



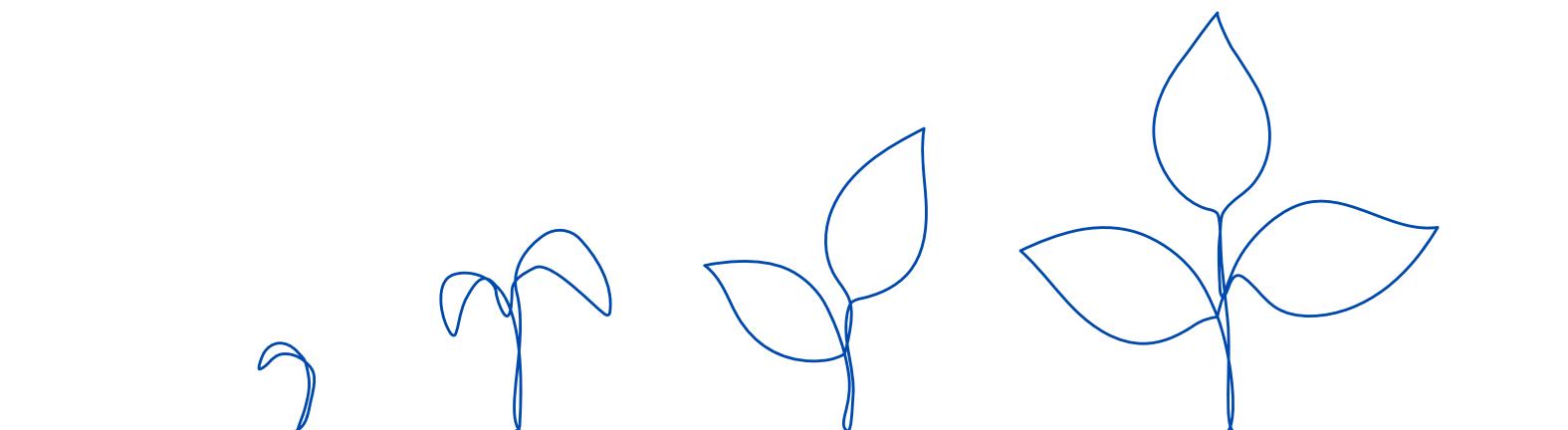
## 移動平均線の役割

トレンドの方向を確認し、エントリー(取引開始のタイミング)やエグジット(取引終了のタイミング)を見極めるために役立ちます。トレンドフォロー型の戦略において特に基本的なインジケーターです。





# RSI(相対力指数)





# RSI(相対力指数)

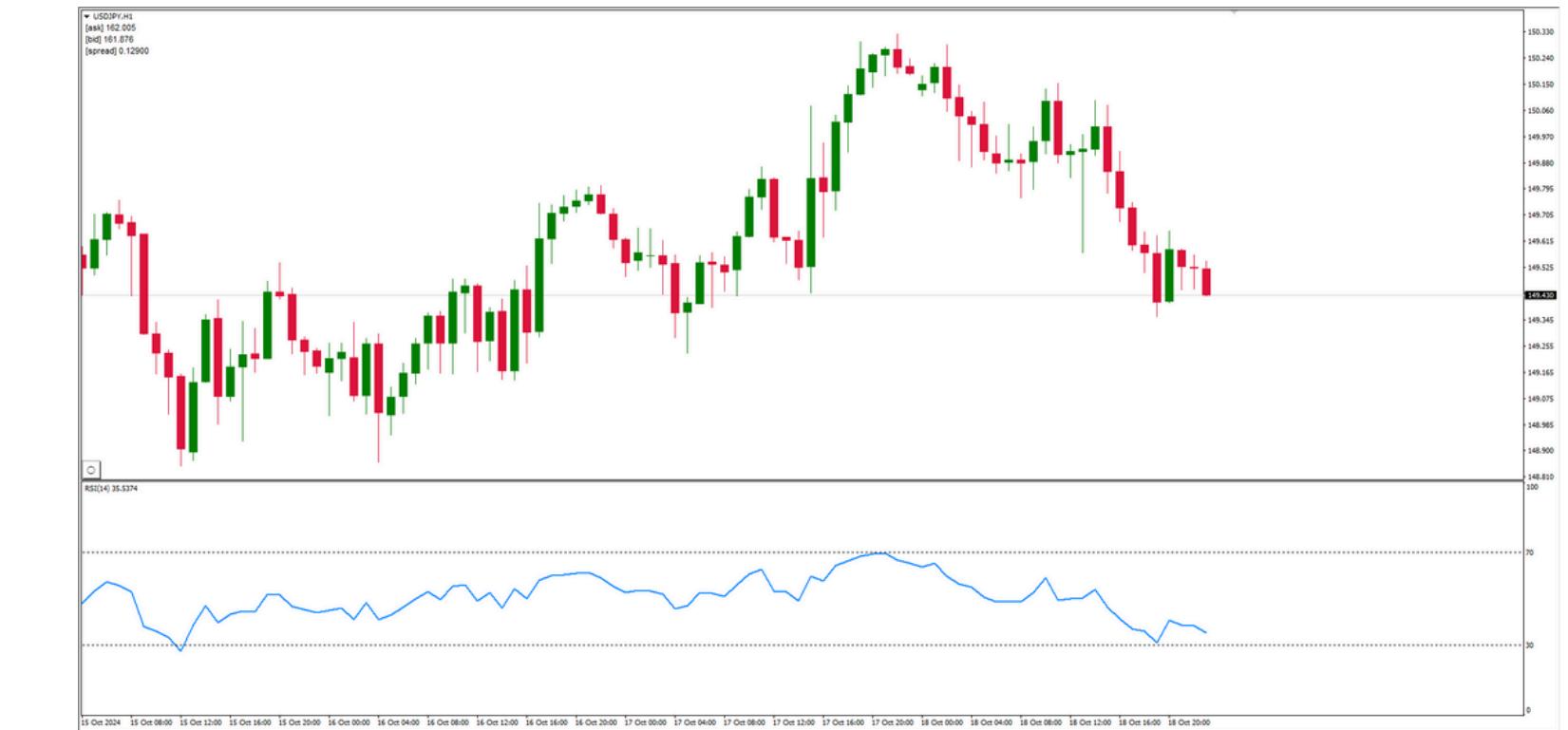
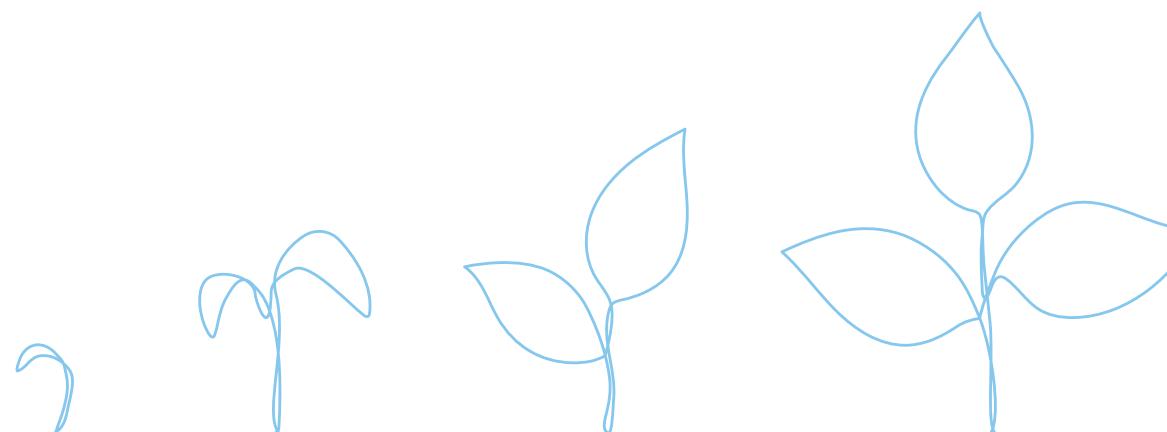


## RSIとは？

相場が「買われすぎ」または「売られすぎ」の状態にあるかを判断するための指標です。

数値は0から100の範囲で表示され、通常70以上は「買われすぎ」、30以下は

「売られすぎ」とされます。



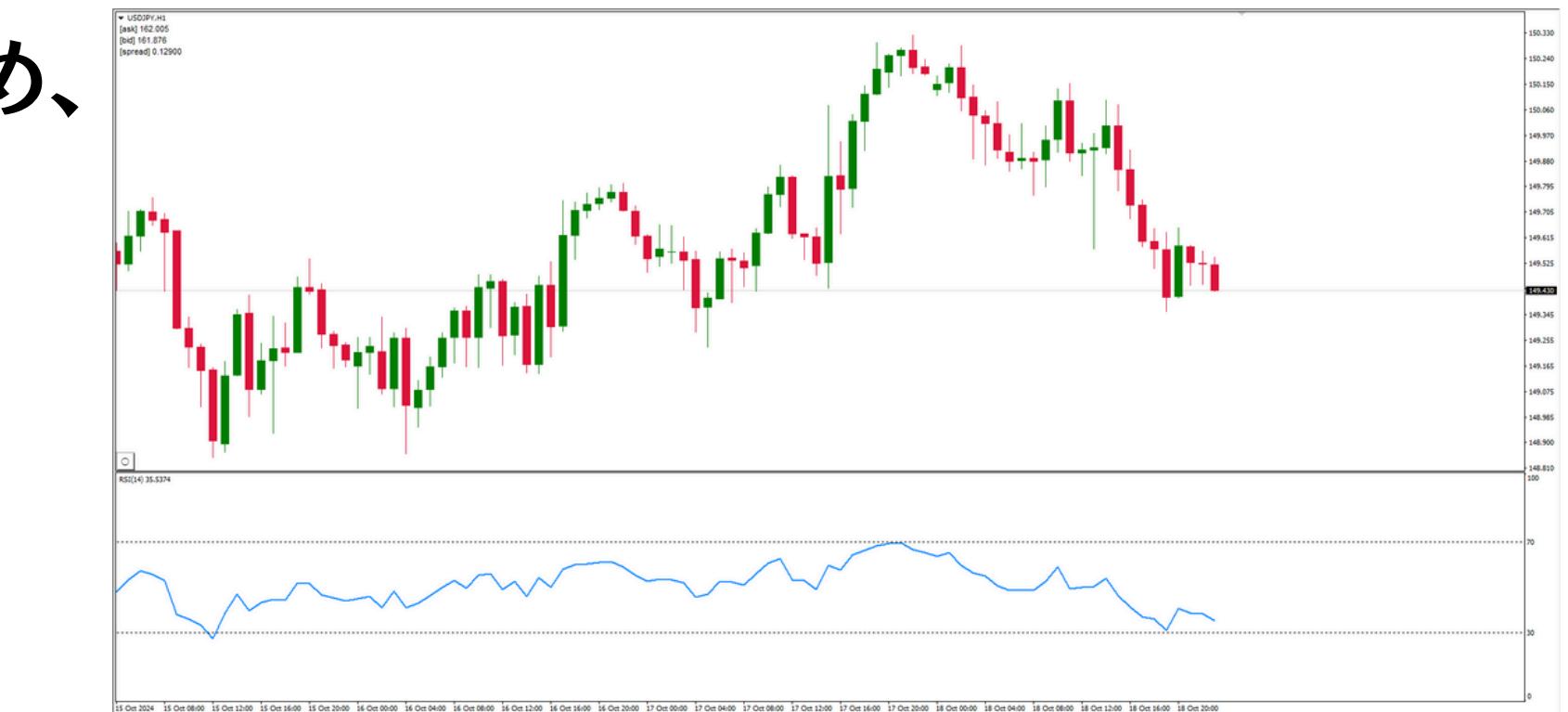
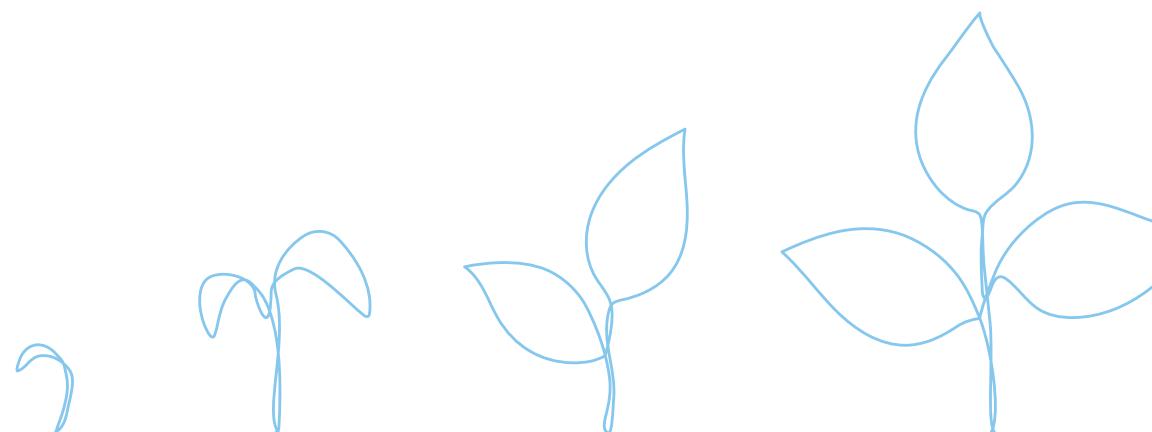


# RSI(相対力指数)



## RSIの使い方

RSIが70以上の場合は、価格が上がりすぎている(=買われすぎ)ことを意味し、そろそろ下落する可能性があるため「売り」を検討します。逆に、30以下の場合は、価格が下がりすぎている(=売られすぎ)ため、「買い」を考えることが多いです。



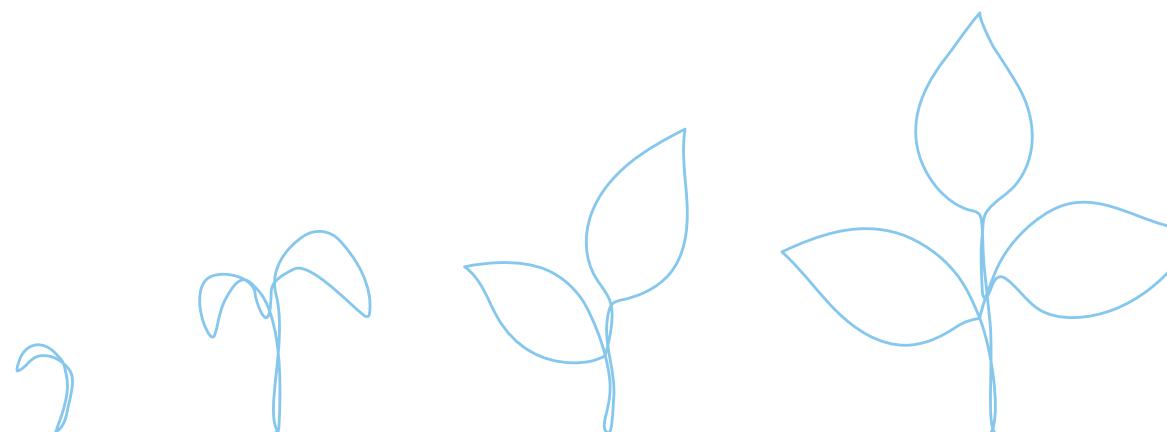


# RSI(相対力指数)



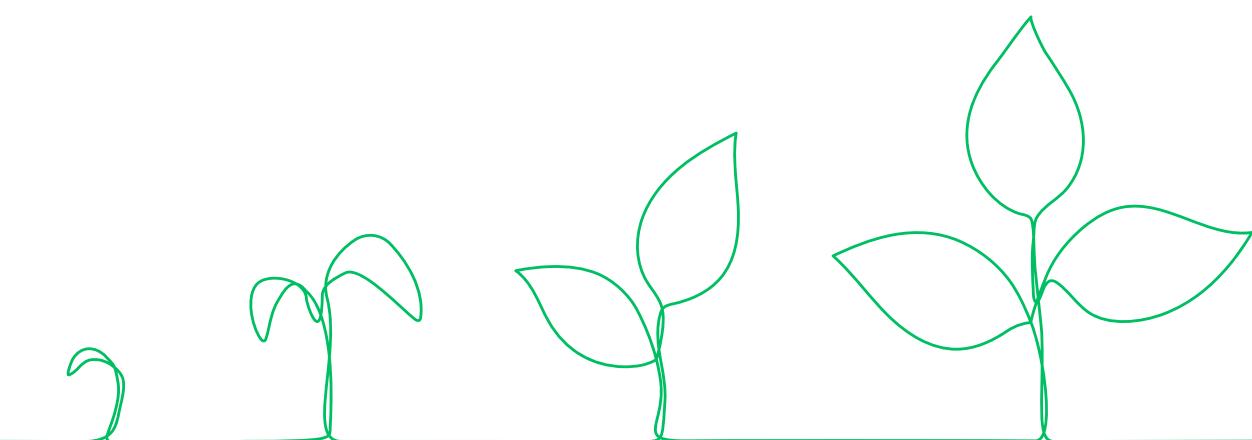
## RSIの役割

RSIは、逆張り(トレンドに逆らった取引)のタイミングを見つけるために使います。価格が極端な状態になったときに、反転のサインとして役立つことがあります。





# MACD(マックディー)



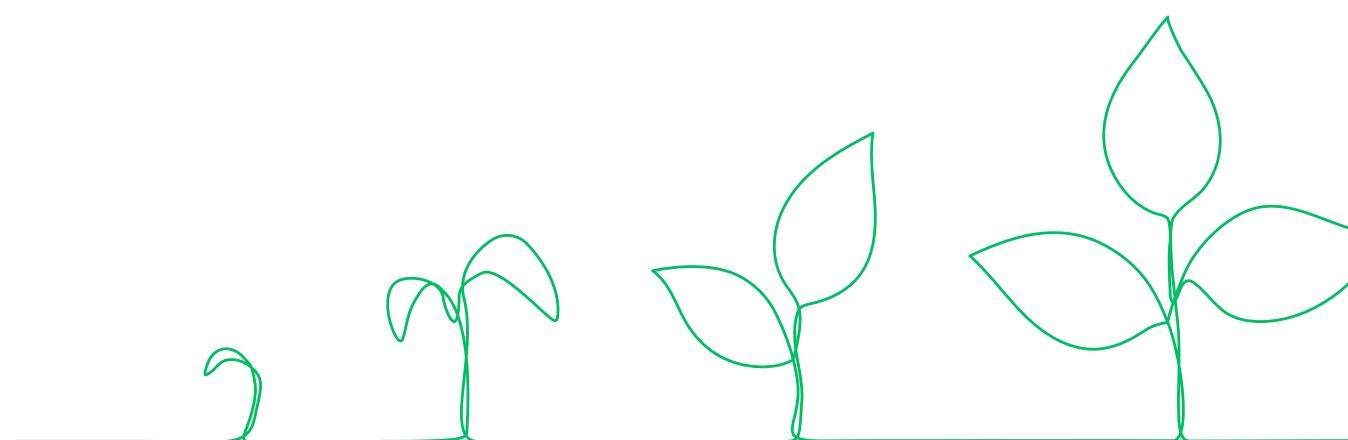


# MACD(マックディー)



## MACDとは？

短期と長期の移動平均線の差を利用してトレンドの強さや方向を確認するためのインジケーターです。トレンドの勢いを測り、価格の転換点を見つけるために有効です。



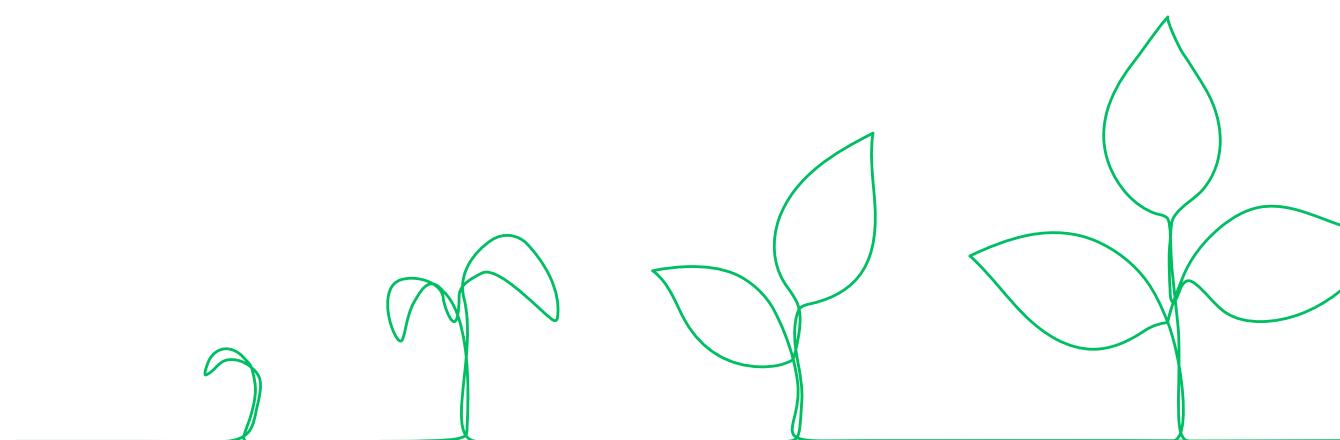


# MACD(マックディー)



## MACDの使い方

MACD線がシグナル線を上に突き抜けたときは「買い」のサイン、逆に下に突き抜けたときは「売り」のサインとされます。このクロスのタイミングを基にエントリーやエグジットを判断します。



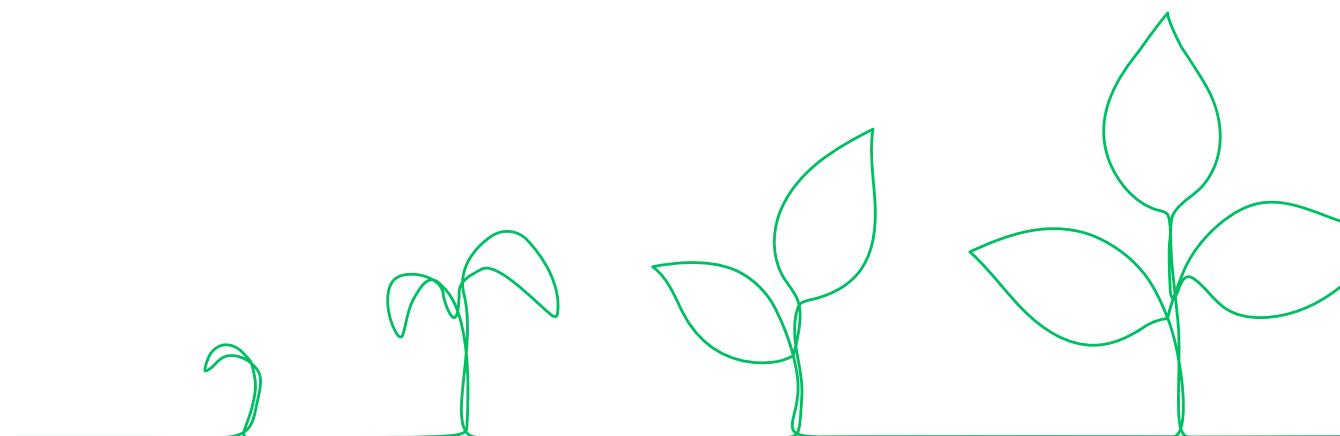


# MACD(マックディー)



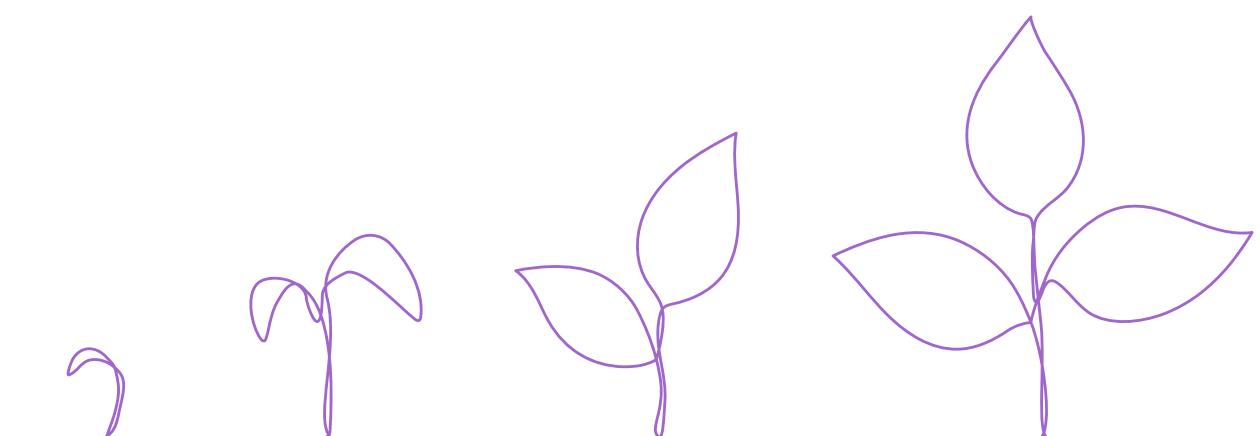
## MACDの役割

MACDは、トレンドの転換点や勢いを見極めるためのインジケーターです。特に、トレンドの強さを確認したいときや、新しいトレンドが始まりそうなタイミングを見つけたいときに活用します。





# ボリンジャーバンド





# ボリンジャーバンド



## ボリンジャーバンドとは？

価格の変動範囲を示すインジケーターです。中心に移動平均線があり、その上下にバンド(線)が広がり、価格のボラティリティ(変動幅)を視覚化します。

バンドの幅が広がると価格の変動が大きく狭まると変動が小さいことを示します。





# ボリンジャーバンド



## ボリンジャーバンドの使い方

価格がバンドの外に出た場合、トレンドが非常に強いと考えられますが、価格はバンド内に戻る傾向があるため、逆張りのタイミングとして使われることも多いです。例えば、バンドの上端を超えたときに「売り」、下端を超えたときに「買い」を検討するケースがよくあります。



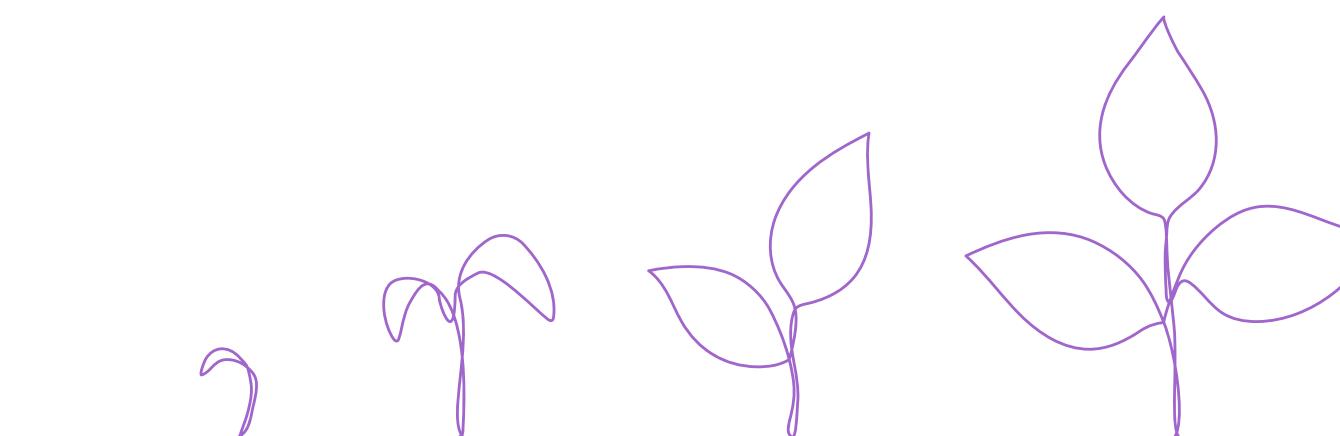


# ボリンジャーバンド



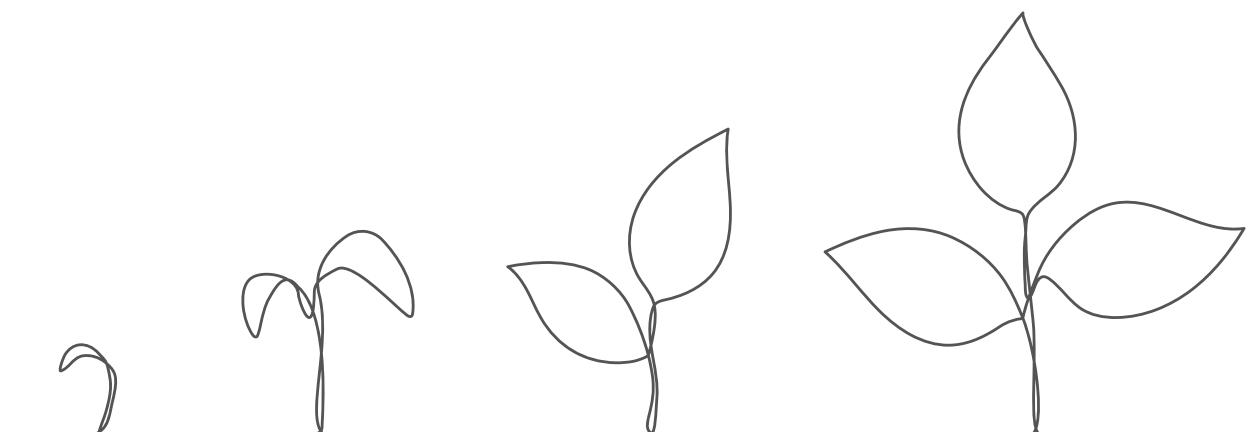
## ボリンジャーバンドの役割

ボリンジャーバンドは、相場のボラティリティ(変動の激しさ)を判断し、トレードのタイミングを計るために使います。特に、価格が異常に大きく動いているときの反発ポイントを見つけるのに便利です。





まとめ





## まとめ

インジケーターは、価格の動きを分析し、次の動きを予測するための重要なツールです。しかし、どのインジケーターも完璧な答えを提供するものではなく、あくまでサポート役として使うことが大切です。

複数のインジケーターを組み合わせて冷静かつ論理的な判断を下すことでトレードの成功確率を高めることができます。



プロトレーダーを目指す者が本気で磨ける場所



知識は力に! 検証は武器に! 学びを仕組みに! 勝ちを習慣に!